

専門分野・基礎看護学 授業計画

授業科目及び時間数	清潔を支える看護 1単位 30時間		
開講時期	1年次前期		
担当教員	芝口由美子	実務経験	有
<p><科目のねらい></p> <p>基礎看護学では「看護の対象および健康、看護の機能・役割について理解し、看護実践に必要な基礎的知識・技術・態度を学ぶ」ことを目的とし、清潔を支える看護では看護の対象者が日常生活において援助が必要となった場合の援助技術の基礎を学ぶものとしている。</p> <p>この科目では、清潔援助について考える。身体を清潔にすることは皮膚機能を正常に保つと同時に生活習慣としても重要なことである。何らかの障害があり自分では健康なときのように清潔を保つことができない場合は、看護者による援助が必要となる。看護における身体清潔の目的は、皮膚・粘膜、それらと関係のある器官の機能を正常に保つことである。更に温熱刺激、圧刺激などにより新陳代謝を高めることで血液循環を良くし、爽快感を与え、疾患や障害のある対象者の入院や治療に伴う身体的・精神的、疾患の予後への不安、これからの生活への不安などの様々なストレスを軽減させることができる。ここでは、対象の健康・生活を支える清潔のニーズを充足させるための援助技術の基礎を学び、演習・実習で実践する頻度の高い援助技術を経験することで、更に、学びを深めるものとした。</p> <p><到達目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 清潔の意義がわかる。 2. 皮膚・粘膜の構造と機能を知り、清潔援助の効果と全身への影響を理解する。 3. 清潔援助の方法選択の視点を理解し、それぞれの清潔援助の基礎知識と実際を学ぶ。 4. 病床での衣生活の基礎知識を理解し、援助の実際と寝衣交換の手順を学ぶ。 			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	1. 清潔の意義 2. 清潔保持の必要性と援助 3. お湯についての検証実験	講義	グループワーク 発表
2回目	1. 寝衣について 2. 寝衣交換	講義	デモンストレーション見学
3回目	1. 寝衣交換	演習	
4回目	1. 入浴・シャワー浴：入浴の意義・入浴方法と援助 2. 整容：整容の必要性・目的・方法	講義	
5回目	1. 全身清拭：清拭の目的とその方法	講義	デモンストレーション見学
6回目	1. 陰部洗浄：陰部洗浄の目的とその方法	講義	デモンストレーション見学
7回目	1. 清潔援助の実際 1) 全身清拭 2) 寝衣交換	演習	
8回目	1. 清潔援助の実際 1) 全身清拭 2) 寝衣交換	演習	
9回目	1. 洗髪：洗髪の方法とその目的 (洗髪車・洗髪台・ケリーパット)	講義	デモンストレーション見学
10回目	1. 手浴：手浴の目的とその方法 2. 足浴：足浴の目的とその方法 3. 口腔ケア：口腔ケアの目的とその方法	講義	デモンストレーション見学
11回目	1. 清潔援助の実際 1) 洗髪 2) 部分浴(足浴・手浴・陰部洗浄) 3) 口腔ケア	演習	
12回目	1. 清潔援助の実際 1) 洗髪 2) 部分浴(足浴・手浴・陰部洗浄) 3) 口腔ケア	演習	
13回目	1. 清潔援助の実際 1) 洗髪 2) 部分浴(足浴・手浴・陰部洗浄) 3) 口腔ケア	演習	
14回目	1. 技術試験	技術試験	
15回目	終了試験	筆記試験	
評価方法	筆記試験 (60%) 技術試験 (40%)		
受講生に対するメッセージ	授業は講義、グループワーク・発表、演習が中心となります。学習内容に応じて講義前後に課題学習があり、授業時間内の演習も積極的に臨み援助技術の修得に努めてほしい。技術試験については合格点に到達するまで繰り返し実施します。		
テキスト	系統看護学講座 専門分野 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院		
参考書			